

ESD ユネスコ世界会議交流セミナー報告書

団体名 RCE 国内連携 (幹事機関：中部 ESD 拠点)

【ESD ユネスコ世界会議の成果】

地域レベルでの ESD の発展に関するセミナーを開催しました。多様な主体による地域での ESD に関するネットワーク活動を世界各地で進めている ESD 地域拠点 (国連大学認定 RCE: Regional Centres of Expertise on ESD) の関係者をパネリストに招いてシンポジウムを行いました。ESD 地域拠点は現在、世界 129 地域あり、11 月 4 日～8 日には、岡山市で「グローバル RCE 会議」が開催されました。本セミナーでは、この成果を踏まえて、地域内外でいかに ESD のネットワークを発展させるべきかについて議論しました。

会の冒頭には、松浦晃一郎前ユネスコ事務局長からの基調講演をいただきました。その後、RCE 兵庫神戸の松岡広路氏と RCE 岡山の流尾正亮氏によるファシリテーションでパネルディスカッションを行いました。パネリストは日本国内 6 RCE を代表して RCE 仙台広域圏の小金澤孝昭氏、アフリカ大陸会議からアリ・ブカー・アハマッド氏 (RCE カノ・ナイジェリア) をはじめ、5 大陸別会議から各代表が登壇し、それぞれの活動手法を学びあうと同時に、グローバルな地域間連携について語り合いました。



【今後の展望】

ESD が取扱う分野は広大ですが、それぞれの国や地域に合った切り口があることを本セミナーで学びました。日本国内でもこれまでに、仙台広域圏における防災教育、横浜の若者活動、東海・中部地域の流域圏単位での ESD 推進、兵庫神戸の福祉やまちづくり、岡山の公民館活動、北九州市の環境教育やジェンダー教育などの特色ある活動が展開されてきました。国際的には、ESD 地域拠点の仕組みが国連「ESD の 10 年」終了後も維持・発展させることが、事務局を務める国連大学でも決まっており、世界 129 の ESD 地域拠点が、10 年間の成果を踏まえた更なる連携の強化を進めていく予定です。